

眼科学

著書

- 1) 大平明弘: 加齢黄斑変性症の予防. 日本医事新報 4231, 日本医事新報社, 東京, 85, 2005
- 2) 児玉達夫: Bartonella henselae による視神経網膜炎. 大橋裕一, 井上幸次監: あたらしい眼科 Vol.22(3), メディカル葵出版, 東京, 347-348, 2005
- 3) 松岡陽太郎, 大平明弘: 透析患者の眼 透析と視神経症. 臨床透析 Vol. 21(6), 日本メディカルセンター, 東京, 681-684, 2005
- 4) 谷戸正樹: 酸化ストレス計測. 医学のあゆみ別冊 レドックス・ストレス防御の医学, 医歯薬出版 東京, 149-150, 2005
- 5) 児玉達夫: 類表皮嚢胞 vs 汗腺の嚢胞. 石橋達朗, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男, 大鹿哲郎編: 眼科プラクティス 8. いますぐ役立つ眼病理, 文光堂, 東京, 26-29, 2006
- 6) 児玉達夫: Merkel 細胞癌 vs 毛包の腫瘍 vs 汗腺の腫瘍. 石橋達朗, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男, 大鹿哲郎編: 眼科プラクティス 8. いますぐ役立つ眼病理, 文光堂, 東京, 30-33, 2006
- 7) 児玉達夫, 吉廻浩子 (図 1 のみ): 網膜色素上皮肥大. 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男, 大鹿哲郎編: 眼科プラクティス 12. 眼底アトラス, 文光堂, 東京, 274, 2006

学術論文

- 1) 河野達朗, 大平明弘: 外来受診中に意識消失をきたした 5 症例. 眼科臨床医報 99(1): 13-15, 2005
- 2) Tanito M, Kwon YW, Kondo N, Bai J, Masutani H, Nakamura H, Fujii J, Ohira A, Yodoi J: Cytoprotective effects of geranylgeranylacetone against retinal photooxidative damage. The Journal of Neuroscience 25(9): 2396-2404, 2005
- 3) Tanito M, Masutani H, Kim YC, Nishikawa M, Ohira A, Yodoi J: Sulforaphane induces thioredoxin through the antioxidant-responsive element and attenuates retinal light damage in mice. Investigative Ophthalmology and Visual Science 46(3): 979-987, 2005
- 4) Kuwahara K, Oizumi N, Fujisawa S, Tanito M, Ohira A: Carteolol hydrochloride protects human corneal epithelial cells from UVB-induced damage in vitro. Cornea

- 24(2): 213-220, 2005
- 5) Kakimaru H, Kataoka H, Enomoto K, Kumahashi N, Ohira A, Yodoi J, Uchio Y, Ochi M: Thioredoxin gene expression in rat knee articular cartilage after full-thickness injury. *Connective Tissue Research* 46: 27-32, 2005
 - 6) Miyazaki T, Yamasaki T, Moritake K, Matsumoto Y, Akiyama Y, Nagai H, Yamamoto Y, Kodama T: Unusual progression of pleomorphic adenoma of the lacrimal gland -Case report-. *Neurologia medico-chirurgica* 45(8): 407-410, 2005
 - 7) 高井保幸, 児玉達夫, 海津幸子, 大平明弘, 鳥居郁子, 丸山理留敬, 三原正義: 涙腺嚢胞の1例. *眼科臨床医報* 99(11): 864-867, 2005
 - 8) Yoshida M, Harada Y, Kaidzu S, Ohira A, Masuda J, Nabika T: New genetic model rat for congenital cataracts due to a connexin 46(Gja3) mutation. *Pathology international* 55: 732-737, 2005
 - 9) Takanashi T, Masuda H, Tanito M, Nonoyama S, Katsube T, Ohira A: Scleral indentation optimizes visualization of anterior chamber angle during goniosynechialysis. *Journal of Glaucoma* 14(4): 293-298, 2005
 - 10) 高井保幸, 栢田尚, 児玉達夫, 大平明弘: 精神発達遅滞を伴った自傷行為による両眼性裂孔原性網膜剥離の1例. *眼科臨床医報* 100(7): 535-538, 2006
 - 11) 栢田尚, 大平明弘: イソプロピル ウノプロスト点眼液と従来型チモロール点眼液併用投与からラタノプロスト点眼液とチモロール熱応答型ゲル点眼液併用投与への切り替えによる臨床効果の検討. *あたらしい眼科* 23(8): 1073-1077, 2006
 - 12) 吉廻浩子, 児玉達夫, 安積祐実, 松岡陽太郎, 大平明弘: 中山間地域病院眼科外来患者の通院手段・島根県奥出雲町の現状について. *眼科臨床医報* 100(12): 948-950, 2006
 - 13) Tanito M, Yoshida Y, Kaidzu S, Ohira A, Niki E: Detection of lipid peroxidation in light-exposed mouse retina assessed by oxidative stress markers, total hydroxyoctadecadienoic acid and 8-iso-prostaglandin F2a. *Neuroscience Letter* 1;398(1-2): 63-8. Epub 2006 Jan 24, 2006

学会発表

- 1) 児玉達夫: 眼部腫瘍性病変の診断と最近の治療選択肢. 第6回島根県眼科冬

- 期学術講演会. 松江, 2005 年 2 月
- 2) 大平明弘: 塩酸カルテオロールの新しい薬理作用. 第 6 回島根県眼科冬期学術講演会. 松江, 2005 年 2 月
 - 3) 吉廻浩子, 児玉達夫, 松岡陽太郎, 安積祐実, 大平明弘: 仁多病院眼科外来患者の通院手段に関して. 第 14 回島根眼科研究会. 第 23 回島根医大眼科学教室同門会. 出雲, 2005 年 3 月
 - 4) 野々山深, 枘田尚, 高井保幸, 松岡陽太郎, 大平明弘, 渡邊正樹, 山本由香里: 裂孔原性網膜剥離を合併した網膜色素変性症の 1 例. 第 14 回島根眼科研究会. 第 23 回島根医大眼科学教室同門会. 出雲, 2005 年 3 月
 - 5) 高井保幸, 高梨泰至, 松岡陽太郎, 大平明弘, 遠藤浩, 加川玲子: One-and-a-half 症候群と味覚障害を合併した脳幹梗塞の 1 例. 第 14 回島根眼科研究会. 第 23 回島根医大眼科学教室同門会. 出雲, 2005 年 3 月
 - 6) 高梨泰至, 大平明弘: 同名半盲における鼻側沈下 (nasal depression) について. 第 14 回島根眼科研究会. 第 23 回島根医大眼科学教室同門会. 出雲, 2005 年 3 月
 - 7) 高梨泰至, 谷戸正樹, 大平明弘: 同名半盲における鼻側沈下 (nasal depression) について. 第 109 回日本眼科学会総会. 京都, 2005 年 3 月
 - 8) 海津幸子, 大平明弘, 並河徹: 先天性白内障ラット -胎生期および新生仔期における水晶体の構造変化-. 第 109 回日本眼科学会総会. 京都, 2005 年 3 月
 - 9) 枘田尚, 谷戸正樹, 大平明弘: 網膜動脈分枝閉塞症に対するプロスタグランジン E1 の治療成績. 第 16 回眼科酸化ストレス研究会. 京都, 2005 年 3 月
 - 10) 大平明弘, 谷戸正樹, 海津幸子, 高梨泰至, 桑原啓一, 藤沢茂樹: 塩酸カルテオロールの網膜光障害に対する抗酸化作用. 第 16 回眼科酸化ストレス研究会. 京都, 2005 年 3 月
 - 11) Kaidzu S, Tanito M, Kim YC, Koyama Y, Ohira A: Quercetin protect the rat retina from light-induced damage. Association for Research in Vision and Ophthalmology 2005 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2005
 - 12) Tane N, Ohira A, Roy S: Fibronectin overexpression and its effect on schlemm's canal cell monolayer permeability. Association for Research in Vision and Ophthalmology 2005 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2005
 - 13) Tanito M, Masutani H, Kim YC, Nishikawa M, Ohira A, Yodoi J: Induction of thioredoxin via antioxidant responsive element, and attenuation of retinal light damage in mice by sulforaphane. Association for Research in Vision and

Ophthalmology 2005 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2005

- 14) 野々山深, 児玉達夫, 枘田尚, 高梨泰至, 安積祐実, 大平明弘, 井上政弥, 石倉浩人, 広江靖: 急性進行性網膜外層壊死の1例. 第50回山陰眼科集談会. 松江, 2005年5月
- 15) 小山泰良, 児玉達夫, 藤井三枝, 大平明弘, 渋谷勇三, 今町克枝, 河野達朗: 島根大学眼科における成人斜視手術症例の検討. 第50回山陰眼科集談会. 松江, 2005年5月
- 16) 高梨泰至, 大平明弘: 失運動視をきたした一例. 第50回山陰眼科集談会. 松江, 2005年5月
- 17) 大平明弘: 「地域における医師の確保等の推進についての提言」: 国立大学附属病院長会議常置委員会, 地域医療問題小委員会ワーキンググループ委員として. 第50回山陰眼科集談会. 松江, 2005年5月
- 18) 大平明弘: Macular Pigment と加齢黄斑変性. 第10回石見臨床眼科研究会. 浜田, 2005年6月
- 19) 児玉達夫: 眼部腫瘍と Muir-Torre 症候群. 第11回日本家族性腫瘍学会学術集会. 福島, 2005年6月
- 20) 児玉達夫, 海津幸子, 高井保幸, 枘田尚, 大平明弘, 丸山理留敬: 眼科領域腫瘍の HER2 蛋白発現. 第23回日本眼腫瘍研究会. 新潟, 2005年6月
- 21) 大平明弘: 緑内障の抗酸化作用と酸化ストレスについて. 大塚製薬学術講演会. 神戸, 2005年6月
- 22) 大平明弘: 網膜光障害に対するルテイン経口投与. 第3回光化学治療—Raman 研究会. 浜松, 2005年7月
- 23) 大平明弘: 白内障に対するルテイン点眼計画. 第3回光化学治療—Raman 研究会. 浜松, 2005年7月
- 24) 枘田尚: トラベクレクトミーにおける新しい結膜縫合法. 第102回中国四国眼科学会. 岡山, 2005年7月
- 25) 大平明弘: チオレドキシンと網膜疾患. 参天製薬奈良研究開発センター講演会. 奈良, 2005年8月
- 26) 児玉達夫: 高齢者の視機能と交通安全. 第20回島根県交通安全高齢者の主張記念大会. 松江, 2005年9月
- 27) 高梨泰至, 枘田尚, 野々山深, 大平明弘: 隅角癒着解離術用補助リングの開発. 第16回日本緑内障学会. 熊本, 2005年9月

- 28) 枘田尚, 高梨泰至 大平明弘: 結膜弁マツトレス縫合を用いた円蓋部基底線維柱帯切除術. 第 16 回日本緑内障学会. 熊本, 2005 年 9 月
- 29) 猪俣泰也, 中村肇, 谷戸正樹, 川路隆博, 淀井淳司, 谷原秀信: NMDA 誘発網膜障害モデルにおけるチオレドキシンの神経保護効果. 第 16 回日本緑内障学会. 熊本, 2005 年 9 月
- 30) 高梨泰至: 閉塞隅角緑内障の手術治療について. 倉敷眼科医会学術講演会. 倉敷, 2005 年 9 月
- 31) Takai Y, Kodama T, Kaidzu S, Masuda H, Ohira A: Expression of c-erbB-2/HER-2 protein in human extraocular lesions. 15th Societas Ophthalmologica Europaea Congress. Berlin, September 2005
- 32) Kodama T, Takai Y, Kaidzu S, Tanito M, Ohira A: Thioredoxin protects retinal microvascular cell injury caused by hydrogen peroxide. 15th Societas Ophthalmologica Europaea Congress. Berlin, September 2005
- 33) 周麗, 荒木亜寿香, 中野晃伸, 柳勇, 大平明弘, 原田孝之: 神経・雄性生殖系ミュータント AMS マウス: 11. 光刺激による網膜視細胞死の促進. 第 46 回日本組織細胞化学会総会・学術集会. 京都, 2005 年 10 月
- 34) 郷渡有子 尾花明, 永瀬康規, 平光忠久, 平野達, 堀田喜裕, 大平明弘, 植田俊彦, Paul B, Werner G, 井関健, 水野智, 藤井比佐子: 日本人における正常眼の黄斑色素密度測定. 第 59 回日本臨床眼科学会. 札幌, 2005 年 10 月
- 35) 児玉達夫, 高井保幸, 太根伸浩, 大平明弘, 小川典子, 田中順子, 井上政弥, 津村弘人, 石倉浩人, 辻野佳雄: 眼窩部びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫の 4 例. 第 59 回日本臨床眼科学会. 札幌, 2005 年 10 月
- 36) 野々山深, 枘田尚, 高井保幸, 松岡陽太郎, 大平明弘, 渡邊正樹, 山本由香里: 裂孔原性網膜剥離を合併した網膜色素変性症の 1 例. 第 59 回日本臨床眼科学会. 札幌, 2005 年 10 月
- 37) 高井保幸, 枘田尚 高梨泰至, 大平明弘: 小眼球における閉塞隅角緑内障. 第 22 回島根緑内障研究会. 松江, 2005 年 10 月
- 38) 高梨泰至, 枘田尚, 野々山深, 大平明弘: 隅角癒着解離術のスキル・トランスファー. 第 22 回島根緑内障研究会. 松江, 2005 年 10 月
- 39) 高井保幸, 高梨泰至, 松岡陽太郎 大平明弘, 加川玲子, 遠藤浩: One-and-a-half (OAH) 症候群と味覚障害を合併した脳幹梗塞の 1 例. 第 43 回日本神経眼科学会総会. 別府, 2005 年 11 月

- 40) 高梨泰至, 大平明弘, 新宮多加志, 森竹浩三: 静脈洞血栓症に伴う失運動視の1例. 第43回日本神経眼科学会総会. 別府, 2005年11月
- 41) 児玉達夫, 高井保幸, 野々山深, 手納朋子, 小山泰良, 吉廻浩子, 太根伸浩, 大平明弘: 島根大学眼科における眼部悪性リンパ腫の検討. 第22回鳥取県眼科学術講演会. 第55回鳥取大学眼科同門会講演会. 米子, 2005年11月
- 42) 児玉達夫, 高井保幸, 海津幸子, 安積祐実, 枘田尚, 松岡陽太郎, 高梨泰至, 大平明弘: 眼科領域腫瘍のHER2蛋白発現. 第22回鳥取県眼科学術講演会. 第55回鳥取大学眼科同門会講演会. 米子, 2005年11月
- 43) 枘田尚: 網膜色素変性症の最新治療と日常生活. 眼科疾患のつどい. 出雲, 2005年12月
- 44) 大平明弘: 白内障について. 市民公開講座「高齢者の病気について」. 出雲, 2005年12月
- 45) 藤井三枝, 飯塚友美, 丸山由美, 高梨泰至, 高井保幸, 大平明弘: 外転神経麻痺に対して筋移動術を行った1例. 第7回鳥取県眼科冬期学術講演会. 第24回鳥根医大眼科学教室同門会 出雲, 2006年2月
- 46) 高井保幸, 高梨泰至 大平明弘: 外転神経麻痺とうっ血乳頭を呈した1例. 第7回鳥取県眼科冬期学術講演会. 第24回鳥根医大眼科学教室同門会 出雲, 2006年2月
- 47) 高梨泰至, 高井保幸, 大平明弘: 心因性視力障害の1例. 第7回鳥取県眼科冬期学術講演会. 第24回鳥根医大眼科学教室同門会 出雲, 2006年2月
- 48) 野々山深, 児玉達夫, 小山泰良, 松岡陽太郎, 枘田尚, 安積祐実, 大平明弘, 三原正義: ネコひっかき病による視神経網膜炎. -若年者の視力予後の検討-. 第7回鳥取県眼科冬期学術講演会. 第24回鳥根医大眼科学教室同門会 出雲, 2006年2月
- 49) 大平明弘, 海津幸子 谷戸正樹: 共鳴ラマン分光法によるヒト黄斑色素量. 第7回鳥取県眼科冬期学術講演会. 第24回鳥根医大眼科学教室同門会 出雲, 2006年2月
- 50) 大平明弘: 加齢黄斑変性に対する抗酸化剤治療の可能性. 平成17年度秋田県基本健診研修会. 秋田, 2006年2月
- 51) 児玉達夫: 眼科領域の腫瘍性病変 三水会学術講演会. 出雲, 2006年3月
- 52) 児玉達夫: 糖尿病の合併症. 日糖協糖尿病療養指導研修会. 松江, 2006年3月

- 53) 大平明弘: 緑内障について. 市民公開講座「高齢者の病気について」 出雲, 2006年3月
- 54) 小山泰良, 児玉達夫, 大平明弘, 久保田浩: ^{123}I -IMP-SPECT 検査を施行した脈絡膜悪性黒色腫の1例. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 55) 児玉達夫, 松岡陽太郎, 野々山深, 大平明弘, 内田伸恵: 炭素イオン線治療を受けた脈絡膜悪性黒色腫患者の臨床経過. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 56) 高井保幸, 児玉達夫, 枡田尚, 大平明弘, 辻野佳雄, 松尾裕彰, 森田栄伸, 三原正義: センチネルリンパ節のPCR法により微小転移が検出された結膜悪性黒色腫の1例. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 57) 勝部透, 高梨泰至, 大平明弘, 伊藤若美: 両眼上水平半盲の1例. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 58) 海津幸子, 枡田尚, 大平明弘: 可視光によるラット網膜光障害. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 59) 海津幸子, 谷戸正樹, 大平明弘: ルテインによるラット網膜光障害の抑制. 第15回島根眼科研究会. 出雲, 2006年3月
- 60) Ohira A, Obana A, Gohto Y, Nagase Y, Hiramitsu T, Hirano T, Hotta Y, Iseki K, Mizuno S, Fujii H, Usui M, Bernstein PS: Measurements of macular carotenoid pigments by resonance raman spectroscopy in Japanese. 6th International Symposium on Ocular Pharmacology and Therapeutics. Berlin, March 2006
- 61) 海津幸子, 枡田尚, 大平明弘: 可視光によってラット網膜に光障害が起きるか. 第110回日本眼科学会総会, 大阪, 2006年4月
- 62) 尾花明, 平光忠久, 平野達, 大平明弘, 堀田喜裕, 郷渡有子, Bernstein PS, 井関健, 水野智, 藤井比佐子: 加齢黄斑変性症患者における黄斑色素量. 第110回日本眼科学会総会, 大阪, 2006年4月
- 63) 海津幸子, 谷戸正樹, 大平明弘: ルテインはラット網膜光障害を抑制するか. 第17回眼科酸化ストレス研究会. 大阪, 2006年4月
- 64) 尾花明, 平光忠久, 大平明弘, 平野達, 堀田喜裕, Bernstein PS, 井関健, 郷渡有子, 水野智, 藤井比佐子: 共鳴ラマン分光装置を用いた黄斑色素量の測定. 第17回眼科酸化ストレス研究会. 大阪, 2006年4月
- 65) Kaidzu S, Masuda H, Tanito M, Ohira A: Retinal damage caused by white fluorescent light in rats is not altered by ultraviolet cut-off filter. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2006 Annual Meeting. Fort Lauderdale,

May 2006

- 66) Tanito M, Haniu H, Matsumoto H, Anderson RE: Proteomics analysis of 4-hydroxynonenal-modified proteins in the stages preceding the light-induced retinal degeneration. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2006 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2006
- 67) Roy S, Tane N, Roy S: Insulin reduces high glucose induced apoptosis by inhibiting ROS production in rat retinal endothelial cells. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2006 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2006
- 68) Obana A, Gohto Y, Hiramitsu T, Hirano T, Hotta Y, Ohira A, Iseki K, Mizuno S, Fujii H, Bernstein PS: Resonance raman spectroscopic measurement of macular carotenoids in Japanese patients with age-related maculopathy. The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2006 Annual Meeting. Fort Lauderdale, May 2006
- 69) 太根ゆさ, 太根伸浩, S.Roy, 大平明弘: 糖尿病網膜症における細胞外マトリックスレセプターの変動. 第 51 回山陰眼科集談会 第 71 回鳥取大学眼科研究会. 米子, 2006 年 5 月
- 70) 太根伸浩 太根ゆさ, S. Roy, 大平明弘: POAG における細胞外マトリックスの役割. 第 51 回山陰眼科集談会 第 71 回鳥取大学眼科研究会. 米子, 2006 年 5 月
- 71) 大平明弘: 光は眼に障害を起こします. おもしろ科学サプライズ講演 ~ 市民生活から見た最新の科学 ~. 出雲, 2006 年 6 月
- 72) 海津幸子, 大平明弘: 白色蛍光灯によるラット網膜光障害に UVA は関与するか. 第 28 回日本光医学・光生物学会. 徳島, 2006 年 7 月
- 73) 野々山深, 児玉達夫, 大平明弘, 渋谷勇三, 三原正義: 小児に発症した猫ひっかき病による視神経網膜炎の視力予後の検討. 第 43 回日本眼感染症学会. 米子, 2006 年 7 月
- 74) 松岡陽太郎: P-ECCE+IOL. 第 103 回中国四国眼科学会. 高松, 2006 年 7 月
- 75) Araki A, Nakano A, Zhou L, Ohira A, Harada T: Effect of the ams mutation in the ataxia and male sterility (AMS) mouse on photic injury to photo receptor cells. The 7th Joint Meeting-the Japan Society of Histochemistry and Cytochemistry and the Histochemical Society. Hawaii, August 2006

- 76) 大平明弘: 加齢に伴う目の病気とその予防について. 産経健康医療シンポジウム 目の健康を考える. 東京, 2006年9月
- 77) 大平明弘: 太陽紫外線の眼への影響. 日本人における太陽紫外線のリスクの総合検討班班会議. 京都, 2006年9月
- 78) Tane Y, Tane N, Roy S: Downregulation of high glucose-induced fibronectin overexpression modulates integrin expression in microvascular endothelial cells. 42nd EASD Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes. Copenhagen, September 2006
- 79) Roy S, Roy S, Oshitari T, Allain C, Yee M, Tane N: Early treatment with combined antisense oligonucleotides against ECM components prevents vascular BM thickening and lesions in diabetic retinas. 42nd EASD Annual Meeting of the European Association for the Study of Diabetes. Copenhagen, September 2006
- 80) 郷渡有子, 尾花明, 西村香澄, 平光忠久, 平野達, 大平明弘, 水野智, 藤井比佐子: 強度近視における黄斑色素密度の測定. 第60回日本臨床眼科学会. 京都, 2006年10月
- 81) 野々山深, 児玉達夫, 大平明弘, 石倉浩人, 井上政弥, 広江靖: 成人T細胞白血病患者に発症した, 進行性網膜外層壊死の1例. 第60回日本臨床眼科学会. 京都, 2006年10月
- 82) 大平明弘: ズバッと解説!パート2 着色アクリルソフト IOL の有用性. 第60回日本臨床眼科学会ランチョンセミナー. 京都, 2006年10月
- 83) 太根伸浩: 献眼について. ライオンズクラブ国際協会 336-D 地区 1-3R 保健福祉委員会献眼・献血研修会. 安来, 2006年10月
- 84) Tanito M, Yoshida Y, Kaidzu S, Niki E, Ohira A: Acceleration of age-related changes in retinal structure and biochemistry in vitamin E deficient diet-fed alpha-tocopherol transfer protein null mice. XIIth International Symposium on Retinal Degeneration. San Carlos, October 2006
- 85) Tanito M, Agbaga MP, Anderson RE: Up-regulation of thioredoxin system by 4-hydroxynonenal via Nrf-2-antioxidant responsive element pathway in bright cyclic light rearing-mediated retinal protection against damaging light exposure. XIIth International Symposium on Retinal Degeneration. San Carlos, October 2006
- 86) Tanito M: Damage and protection induced by photooxidative stress in retina. XVII International Congress of Eye Research. Buenos Aires, October 2006
- 87) Tane N, Tane Y, Roy S: High glucose-induced overexpression of extracellular

matrix components and excess permeability in schlemm's canal cells. XVII

International Congress of Eye Research. Buenos Aires, October 2006

- 88) 谷戸正樹: 緑内障トピックとしての角膜. 第 23 回島根緑内障研究会. 出雲, 2006 年 11 月
- 89) 高井保幸, 児玉達夫, 大平明弘, 草竹兼司, 森田栄伸, 松尾裕彰: センチネルリンパ節の PCR 法により微小転移が検出された結膜悪性黒色腫の 1 例. 第 21 回眼窩疾患シンポジウム. 東京, 2006 年 11 月
- 90) 大平明弘: 白内障について. 出雲市民公開講座. 出雲, 2006 年 11 月